

あの猛暑がうそのような大変すごしやすい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃からのご厚情に心からお礼を申し上げます。

本県を襲った甚大な被害、家畜の伝染病「口蹄疫」は、ようやく8月27日に終息宣言を行うにいたりました。畜産農家や関係者の皆さん、そして間接的に被害を受けられた皆さんに心からお見舞いを申し上げます。また、県内はもとより、全国から猛暑の中、応援に駆けつけていただいた方々に、そして全国からいただいた義援金も約33億5千万円となり（9月末時点）、ご支援いただいた皆様に衷心より感謝申し上げます。県の試算では、2350億円の経済的な損失となり、これからは復興再生に全力で取り組んでまいります。また、全国のモデルとなるような循環型の安心・安全の畜産を構築していかなければなりません。

さて、9月議会ではこの口蹄疫の復興対策が大きな課題でしたが、東国原英夫知事の出処進退が大きな話題となりました。各議員からの質問に対して熟慮中と答弁はぐらかした末、9月29日の本会議で、次期知事選への不出馬を表明いたしました。知事として限界を感じた、国のシステムを変



9月議会で一般質問

えたい等々の理由を挙げ、1期限りでの退任となります。驚異的な95%の県民の支持を振り切り、口蹄疫の復興対策は次の知事に託することとなります。新しい知事と県民総力戦でこの宮崎県を立て直していかなければなりません。県民に納得していただくような知事の擁立に努力してまいります。なお、東国原知事におかれましては、どのステージに行かれようと、引き続き強力な宮崎の応援団であることを願いたいものです。

さて、今回は9月議会で一般質問を行いました。その一部をご紹介します。

9月議会のご報告

9月3日から10月12日まで、40日間の長丁場でした。口蹄疫復興対策費の292億2228万円を含む322億6020万円の補正予算案、「口蹄疫復興対策基金」を創設する条例案などの15議案を可決いたしました。一連の口蹄疫対策に関する予算は、今回の補正を含め884億4745万円となります。なお厳しい財政情勢の中で、口蹄疫関連の予算を確保するため、議員報酬を5%カットする条例案を私どもの会派「新みやざき」で提案いたしました。しかし、賛成少数で否決されました。また、平成21年度決算を認定いたしました。

9月定例県議会一般質問

新会派「新みやざき」になって、初めての一般質問を行いました。その一部をご紹介します。

知事の政治姿勢

【質問】 政権交代して1年が経過したが、新政権をどのように評価しているのか。

【知事】 私も、多くの国民と同様にこれまでの政治からの「変化・改革」を大いに期待した。様々な改革や政策に意欲的に取り組まれる一方で、短期間で総理の交代が行われたことや地域主権改革の停滞など懸念を抱かざるを得ないところもあります。

民主党には地方の声、地方の実情を踏まえ、政治的なリーダーシップを発揮していただき、様々な政策にスピード感をもち、果敢に取り組んでいただきたい。



【質問】 知事任期も残すところわずかとなってきたが、知事自身のマニフェストの達成度について、どのように評価しているか。

【知事】 私のマニフェストをベースにした「新みやざき創造戦略」の重点項目56項目のうち、Aが23項目、Bが32項目とした外部評価の結果は、私の成果の捉え方と一致している。例えば医療提供体制の充実や企業誘致などは、全国的な医師不足や世界的な景気後退の影響があったとはいえ、もう少し成果を上げるべきという思いもある。一方で「県政への信頼回復」や「宮崎ブランド力向上」などについては、一定の成果を上げられたと考えている。

宮崎日日新聞(2010年9月14日)



宮崎雄二議員（新みやざき、延岡市区）は国の緊急経

県議会 一般質問

2日目

済・雇用対策交付金による16金収入4300万円から15基金5003億円について「今年5月の時点で92億円活用での未償還は約6億8千万し、執行率17・3%。残れば「国に返還される」と懸念。稲用博美総務部長は「活用しづらく執行が遅れているが、本年度末には執行率88・2%を見込んでいる」と答えた。

細島港と東九州自動車道日向インターチェンジ（IC）を結ぶ小倉ヶ浜有料道路の利便、収支状況も質問し、児玉宏紀県土整備部長は「11億円の建設費に対し、昨年度は料

方、「計画通りの返済は厳しく、県道路公社と借入金の方、計画後の無料化に含みを持たせた。

「無料化による利用促進を提案。児玉部長は「3年後に完済する計画があり、その前の無料化は困難」とする

「無料化による利用促進を提案。児玉部長は「3年後に完済する計画があり、その前の無料化は困難」とする

医療福祉行政

【質問】 新政権の意向を受けて、診療報酬が見直され、今年度から実施されている。地域医療の崩壊を食い止めるため、救急医療や産科、小児科の報酬が手厚くなった。県立病院の収益に与える影響はどれくらいか。

【病院局長】 診療報酬改定のうち、医師の技術料などに当たる「本体部分」は1.55%のプラス改定。平成21年度の入院・外来収益が206億円余ですので、単純に1.55%収益が増えると改定した場合、概ね3億円程度の増収が期待できると考えている。

小倉ヶ浜有料道 無料化45年先？



県「借金完済前は困難」

日向市の国道10号の渋滞緩和のため県道路公社が建設した小倉ヶ浜有料道路(全長360m)の未償還額が2009年度末で約6億8千万円あり、料金収入から年1500万円を返済に充てる現在のペースでは、完済にあつた40年以上かかる想定となる(ことが分かった。13日の県議会一般質問では、無料化時期が問われたが、県側は償還完了前は難しい考えを示した。

県などによると、小倉ヶ浜有料道路は国道10号と細島臨海工業地域との間にあり、1984年に完成した。料金は普通車100円で、利用台数1日3千台、料金収入年約1億円を見込み、94年度には最大の1日約3900台の利用があった。しかし、09年度の料金収入は当初見込みの半分以下の約4300万円、うち1500万円を返済

通行激減、収入低迷

に充てるにすぎなかった。一般質問で田口雄二議員(新みやぎ)は「単純計算でも返済にあつた45年かかる」と分析。交通量が最盛期から激減している現状を踏まえ、「東九州道と細島港のアクセス道路として、無料化できないか」と提案したが、児玉宏紀県土整備部長は「13年5月までに借入金を返済して無料化する計画で、それ以前の無料化は困難」と当初の方針を説明した上、「期日までの返済は厳しい状況だが、借入金処理に様々な方策を検討したい」とした。東国原英夫知事は議後、報道陣を前に「小倉ヶ浜有料道路の有効利用のため、日向市のプレミアム商品券に(無料で行ける特典を)入れるのはどうか」などと述べた。

県議会

一般質問

県議会9月定例会は13

24年度開校へ順調



田口雄二議員

日、一般質問の目玉を迎え、県北議員は田口雄二議員(新みやぎ、延岡市区)が登場した。主な質疑応答は次の通り。

【田口雄二議員】県立病院経営健全化。延岡病院の赤字が突出するが、収支改善にどう取り組むか。

【田口雄二議員】県立病院経営健全化。延岡病院の赤字が突出するが、収支改善にどう取り組むか。▽日量線への新型車両導入。リレーつばめ車両導入のチャンスだ。▽延岡総合特別支援学校

【田口雄二議員】県立病院経営健全化。延岡病院の赤字が突出するが、収支改善にどう取り組むか。▽日量線への新型車両導入。リレーつばめ車両導入のチャンスだ。▽延岡総合特別支援学校

【田口雄二議員】県立病院経営健全化。延岡病院の赤字が突出するが、収支改善にどう取り組むか。▽日量線への新型車両導入。リレーつばめ車両導入のチャンスだ。▽延岡総合特別支援学校

12月開通 国道10号平岩―美々津渋滞対策を

川島もつと悪くなるのでは

県議会9月定例会は13日、一般質問の目玉を行き、田口雄二議員(新みやぎ、延岡市区)は、海浜水場前交差点は、東九州自動車道、日向市平岩から美々津町までの国道10号区間の朝夕の渋滞問題を取り上げた。12月に九州自動車道10号線が開通するが、川島、日向間の開通は、もつと悪くなるのではないかと、対策を求めた。鶴岡雅博県土整備部長は、実態を詳細に調べ、信機機の表示時間(周期調整)を検討したいと答えた。

田口議員は「なぜ、住宅もまはらに混雑するの。門川、日向開通に、郊外のため信機機と、同じく一部運動して、削減されてはならない」と述べた。

県議会9月定例会は13日、一般質問の目玉を行き、田口雄二議員(新みやぎ、延岡市区)は、海浜水場前交差点は、東九州自動車道、日向市平岩から美々津町までの国道10号区間の朝夕の渋滞問題を取り上げた。12月に九州自動車道10号線が開通するが、川島、日向間の開通は、もつと悪くなるのではないかと、対策を求めた。鶴岡雅博県土整備部長は、実態を詳細に調べ、信機機の表示時間(周期調整)を検討したいと答えた。

トピックス

細島港が重点港湾に

直轄港湾整備事業の選択と集中を図るため、全国の103の重要港湾の中から、平成23年度以降に集中的に整備をする43の重点港湾に、8月3日「細島港」が指定されました。また、8月27日には国交省より来年度予算概算要求に44億円を上げたことも公表されました。平成19年の取り扱い貨物量は、全国平均を下回り、さらに103港の中で52番目であり、指定には大変難しいハードルでしたが、県、市当局をはじめ地元関係者のご努力はもちろんのこと、民主党宮崎県連所属の国会議員4人のご尽力に感謝申し上げます。日向市、県北はもとより、本県の経済界に大きく寄与してくれるものと確信いたします。また今回の指定は、九州中央自動車道(九州横断自動車道延岡線)の早期整備にも大きな弾みになります。

活動フォト

北方～延岡道路
蔵田第2トンネル起工
安全祈願祭
(8月4日/北方町蔵田)



口蹄疫復興イベント 7000人の参加者となった
「元気のべおか復活市民焼肉大会」
(8月29日/船倉町)



雨で2日間順延された
東海小学校大運動会
(10月5日)



大分・宮崎・熊本県境議員
連盟の要望活動で、
高速道の早期整備を陳情
(8月10日/西日本高速道路㈱大阪本社)



年金協会グラウンドゴルフ
レディース大会の開会式
(9月4日/延岡青朋高校グラウンド)



地元の皆さんと延岡土木事務所の職員とともに
熊野江川の土砂の堆積状況調査
(10月8日/熊野江町)

プロフィール

昭和33年12月 延岡市追内町生まれ
日本大学法学部卒業、旭化成(株)入社
米沢 隆衆議院議員 秘書(延岡・宮崎で11年間)
平成15年 延岡市議会議員(1期)
平成19年 宮崎県議会議員

【主な現職】民主党宮崎県連 副代表
県議会 厚生常任委員会 副委員長
県定時制・通信制高校振興会 副会長
延岡青朋高校振興会 会長
延岡野球協会・延岡市ソフトボール協会 顧問

県政
相談

ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。

TEL/FAX : 0982-26-1945 携帯 : 090-5021-7729
田口雄二 住所 : ☎882-0004 延岡市樫山町3-841-2
e-mail: gucci.yuji.1203@docomo.ne.jp